

## ■ マシンエイドの部品再生プロセス 図面無しでの部品制作例

- ①お客様から現物をお預かりいたしました。  
摩耗や破損した部分があってもかまいません。
- ②デジタイザ3D測定で、図面が無くても対応します。  
デジタイザを使用し形状データをCADに取り込み、3次元計測器やその他計測器により寸法計測を行い、正確な寸法で形状データを修正し、摩耗や破損した部分を修正した3次元CADデータを作りました。  
特にご希望がある場合は、三次元プリンタで出力した樹脂製のモデルをお見せし、より具体的にご確認いただいています。
- ③必要に応じて図面化します。
- ④今回の例では鋳造品でリピート性もあるので木型を作りました。
- ⑤AC7Aで鋳造、切削加工をし納品をしました。



### 生産性をあげるためにお客様にリデザインをご提案することがあります。

お客様のリクエストを実現するために、形状や材質、製造方法等の変更といったリデザインをご提案することがあります。元々使用されていた材料よりも、最新の優れた特性を持つ材料にすることで耐久性や部品の性能が向上する場合があります。

私達は、単に修復した部品ではなく、お客様の生産性の向上や、コストの低減に貢献できる付加価値を提供したいと考えています。

## ■ 受注から納品までの流れ

